

**2007年度
中間期
決算説明会**

**2007年11月15日
日本新薬株式会社**



中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	26,833	100.0%	27,987	100.0%	1,154	4.3%
営業利益	1,541	5.7%	2,751	9.8%	1,210	78.5%
経常利益	1,663	6.2%	3,365	12.0%	1,702	102.3%
中間純利益	806	3.0%	1,845	6.6%	1,039	128.7%

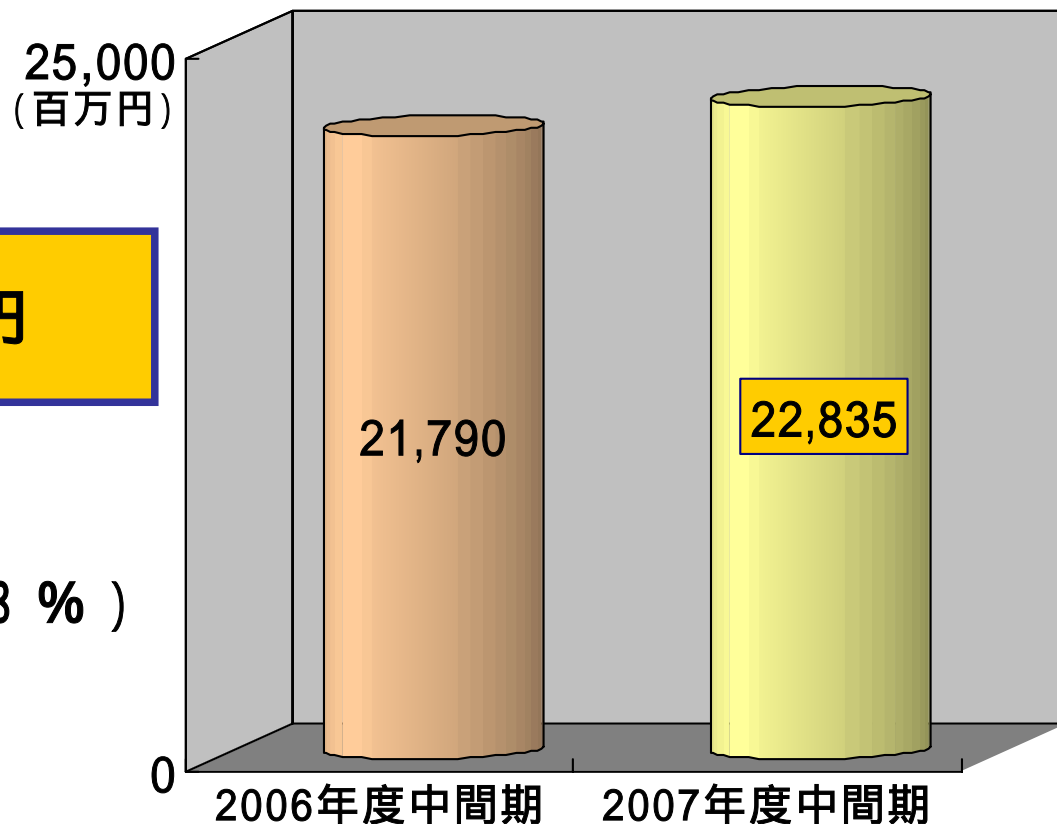


部門別業績推移 医薬品

実績 22,835百万円

対前中間期比

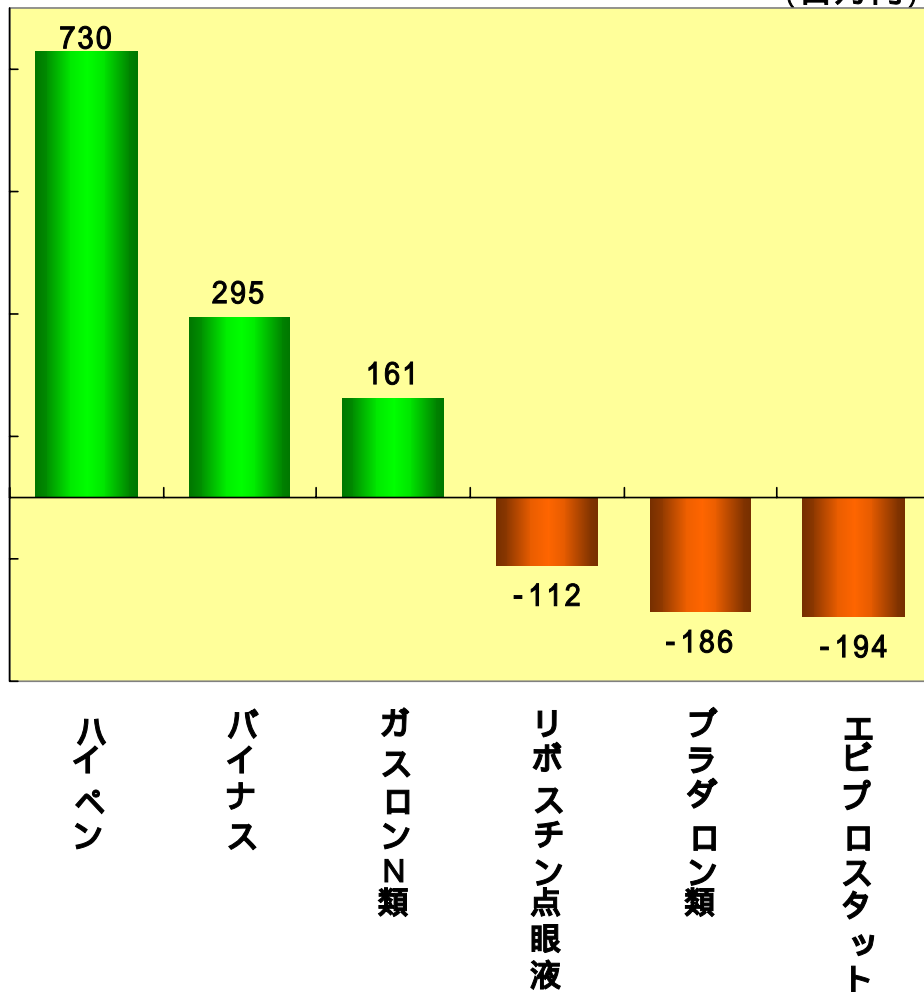
+ 1,045百万円(+ 4.8%)





主力品目 売上高増減

(百万円)



- ・ハイペン(28.7% up)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・ガスロンN類(8.8% up)
(粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤)
- ・バイナス(82.6% up)
(アレルギー性鼻炎治療剤)

等の伸長

- ・エビプロスタット(6.5% down)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・ブラダロン類(9.4% down)
(頻尿治療剤)
- ・リボスチン点眼液(40.1% down)
(抗アレルギー点眼液)

等の減少



医薬品売上の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	20,919	96.0%	21,447	93.9%	528	2.5%
工業所有権等収益	77	0.4%	460	2.0%	383	497.4%
フルリフロキサシン原薬	718	3.3%	827	3.6%	109	15.2%
受託製造	76	0.3%	101	0.4%	25	32.0%
医薬品合計	21,790	100.0%	22,835	100.0%	1,045	4.8%

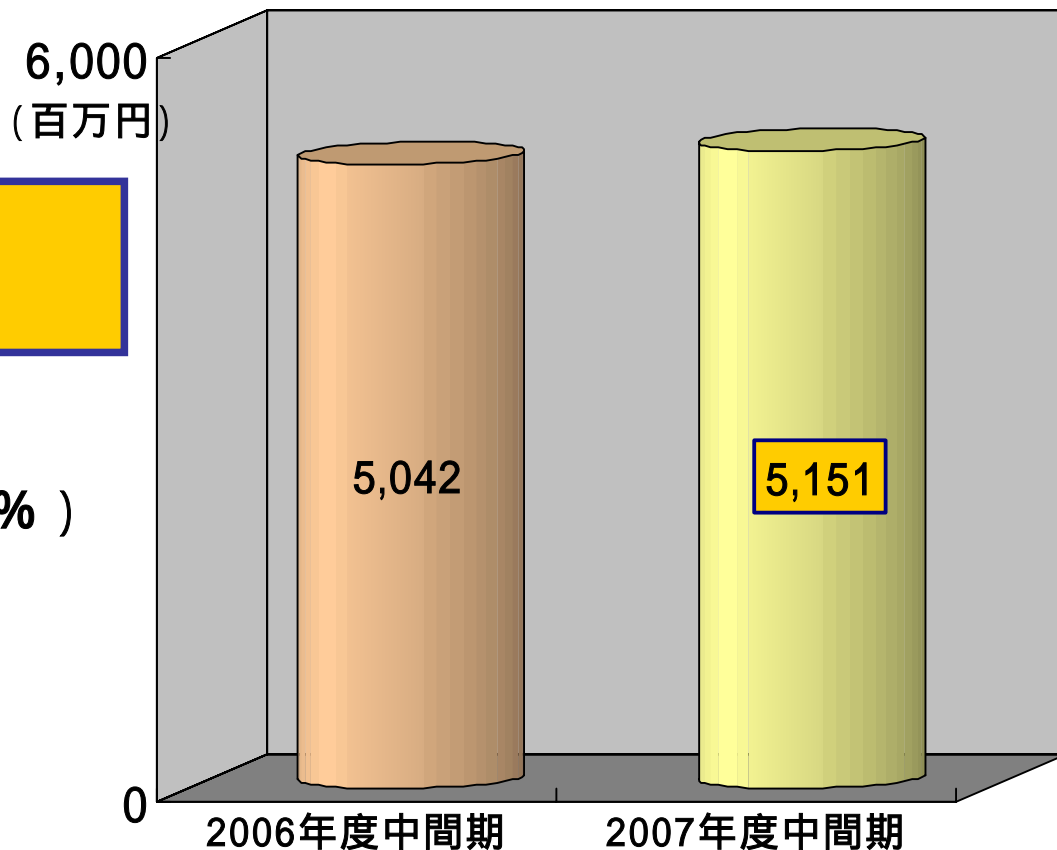


部門別業績推移 機能食品

実績 5,151百万円

対前中間期比

+ 109百万円(+ 2.2 %)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
調味・香辛料	267	5.3%	274	5.3%	7	2.6%
健康食品素材	401	8.0%	299	5.8%	102	25.4%
品質安定保存剤	699	13.9%	696	13.5%	3	0.4%
たん白製剤	3,123	61.9%	3,318	64.4%	195	6.2%
除菌・洗浄剤	186	3.7%	207	4.0%	21	11.3%
小麦製品	74	1.5%	57	1.1%	17	23.0%
その他	292	5.8%	300	5.8%	8	2.7%
機能食品合計	5,042	100.0%	5,151	100.0%	109	2.2%

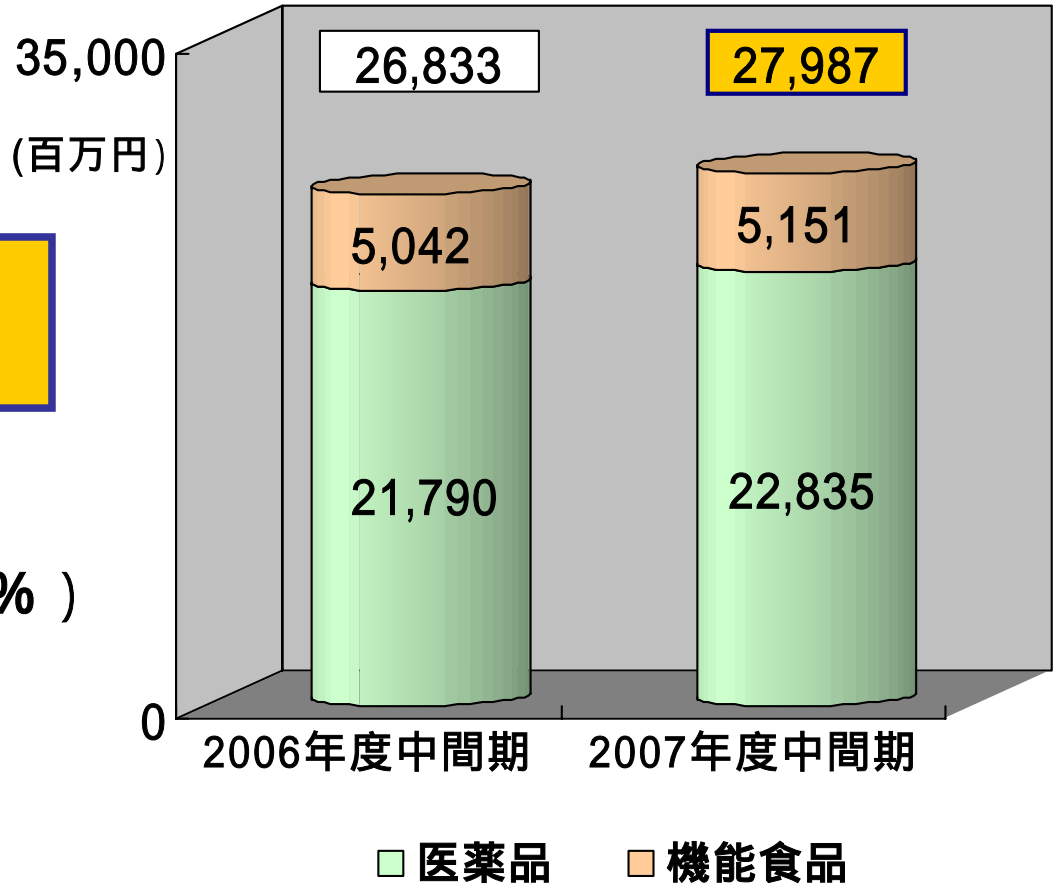


中間期業績推移(連結)売上高

実績 27,987百万円

対前中間期比

+ 1,154百万円(+ 4.3%)





中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	26,833	100.0%	27,987	100.0%	1,154	4.3%
(医薬品)	(21,790)	(81.2%)	(22,835)	(81.6%)	(1,045)	(4.8%)
(機能食品)	(5,042)	(18.8%)	(5,151)	(18.4%)	(109)	(2.2%)
営業費用	25,292	94.3%	25,235	90.2%	57	0.2%
売上原価	12,103	45.1%	12,806	45.8%	703	
返品引当金戻入額	3	0.0%	2	0.0%	5	
販売費及び一般管理費	8,797	32.8%	8,741	31.2%	56	
研究開発費	4,393	16.4%	3,685	13.2%	708	
営業利益	1,541	5.7%	2,751	9.8%	1,210	78.5%

営業利益：売上の増加、研究開発費の減少等により大幅増益



中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	1,541	5.7%	2,751	9.8%	1,210	78.5%
営業外収益	443	1.7%	922	3.3%	479	107.9%
営業外費用	321	1.2%	308	1.1%	13	4.0%
経常利益	1,663	6.2%	3,365	12.0%	1,702	102.3%
中間純利益	806	3.0%	1,845	6.6%	1,039	128.7%

経常利益・中間純利益 : 営業利益、営業外収益の増加により大幅増益



設備投資の状況 (連結)

設備投資及び減価償却費

(百万円)

	中間期実績		
	2006年度	2007年度	増減
設備投資額	723	1,169	446
減価償却費	1,306	1,314	8

設備投資内訳

(百万円)

	中間期実績		
	2006年度	2007年度	増減
< 日本新薬 >	696	1,038	342
生産関連	395	662	267
研究開発関連	149	218	69
一般関連	152	158	6
< シオエ製薬 >	20	7	13
< タジマ食品 >	7	123	116
< NS Pharma >	-	1	1
設備投資計	723	1,169	446



財政状況 (連結)

(百万円)

	中間期実績				中間期実績		
	2006年度	2007年度	増減		2006年度	2007年度	増減
資産の部	102,806	103,546	740	負債の部	28,162	26,903	1,259
(流動資産)	49,004	52,509	3,505	(流動負債)	12,816	14,014	1,198
(固定資産)	53,801	51,037	2,764	(固定負債)	15,345	12,889	2,456
				純資産の部	74,644	76,642	1,998
合計	102,806	103,546	740	合計	102,806	103,546	740



キャッシュ・フローの状況 (連結)

(百万円)

	2006年度	2007年度	2006年度
	中間期実績	中間期実績	期末実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,353	2,674	4,200
投資活動による キャッシュ・フロー	2,998	649	4,259
財務活動による キャッシュ・フロー	1,386	1,052	2,448
現金及び同等物の 中間期末残高	11,760	12,290	11,312

現金及び同等物の期末残高 : 対前年度比 + 977百万円



予想損益計算書 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績		予想	対前年度比		
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	56,320	100.0%	57,500	100.0%	1,180	2.1%
営業利益	5,220	9.3%	5,600	9.7%	380	7.3%
経常利益	5,290	9.4%	6,200	10.8%	910	17.2%
当期純利益	2,899	5.1%	3,500	6.1%	601	20.7%

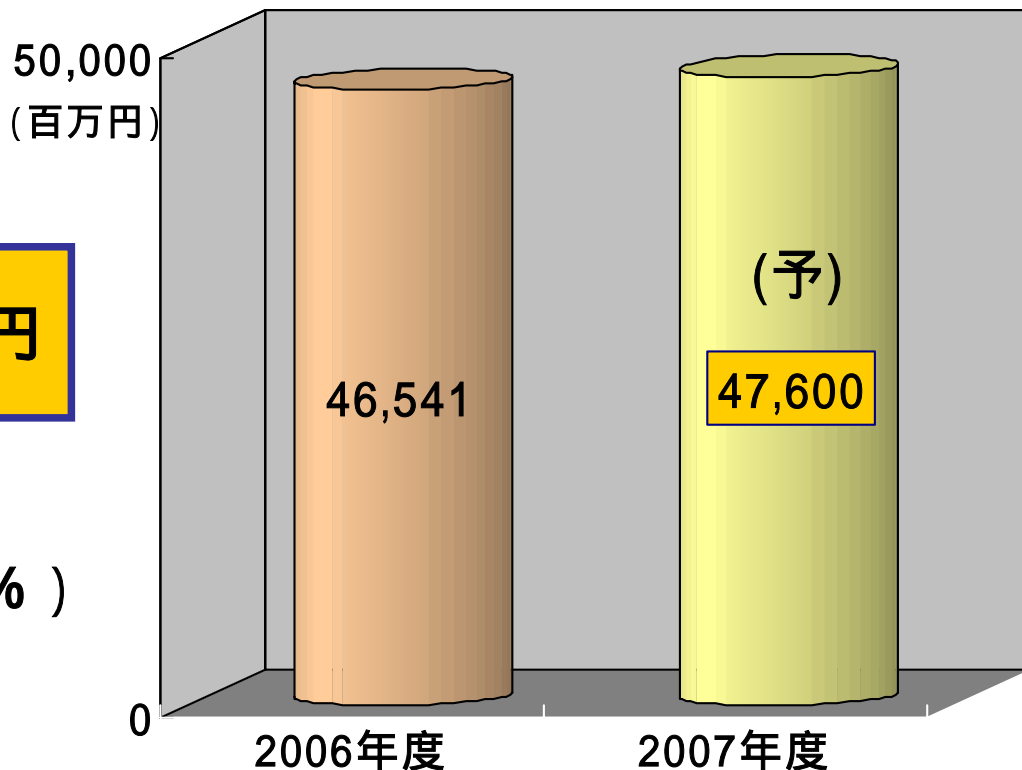


事業別業績見通し 医薬品

2007年度 47,600百万円

対前年度比

+ 1,059百万円(+ 2.3%)





医薬品売上予想の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	44,339	95.3%	45,110	94.8%	771	1.7%
工業所有権等収益	856	1.8%	900	1.9%	44	5.1%
フルリフロキサシン原薬	1,201	2.6%	1,400	2.9%	199	16.6%
受託製造	145	0.3%	190	0.4%	45	31.0%
医薬品合計	46,541	100.0%	47,600	100.0%	1,059	2.3%

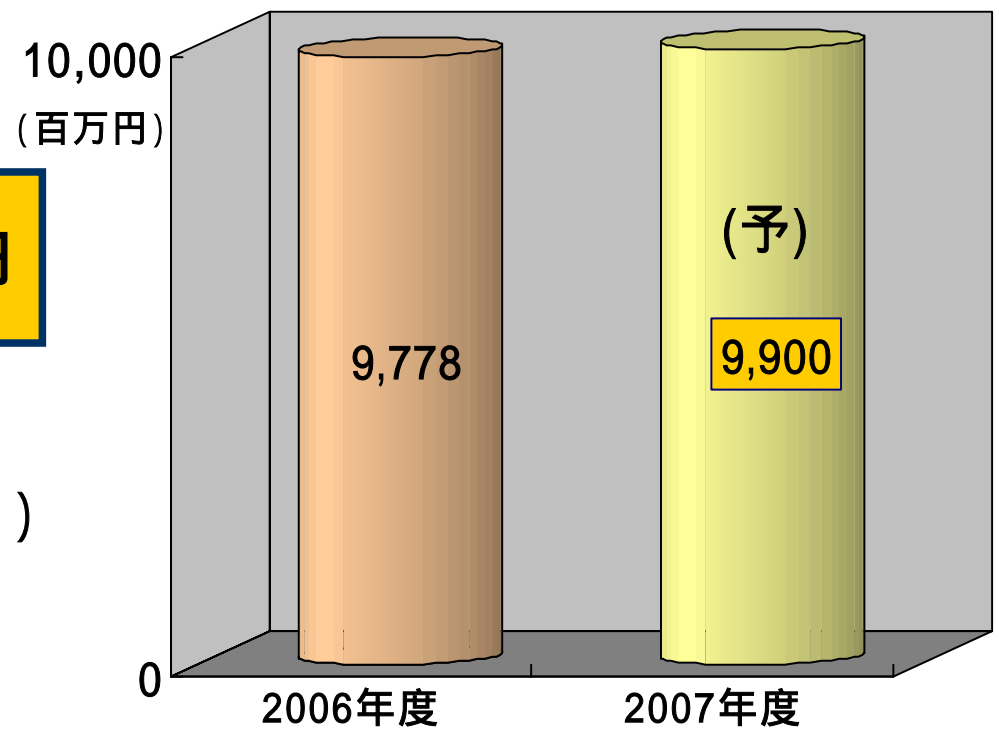


事業別業績見通し 機能食品

2007年度 9,900百万円

対前年度比

+ 122百万円(+ 1.2%)





機能食品売上予想の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績	売上比	予想	対前年度比		
				売上比	増減	増減率
調味・香辛料	503	5.1%	500	5.1%	3	0.6%
健康食品素材	841	8.6%	850	8.6%	9	1.1%
品質安定保存剤	1,397	14.3%	1,450	14.6%	53	3.8%
たん白製剤	5,954	60.9%	6,000	60.6%	46	0.8%
除菌・洗浄剤	369	3.8%	400	4.0%	31	8.4%
小麦製品	140	1.4%	150	1.5%	10	7.1%
その他	574	5.9%	550	5.6%	24	4.2%
機能食品合計	9,778	100.0%	9,900	100.0%	122	1.2%



予想損益計算書(連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績	売上比	予想	売上比	対前年度比	
					増減	増減率
営業収益						
売上高	56,320	100.0%	57,500	100.0%	1,180	2.1%
(医薬品)	(46,541)	(82.6%)	(47,600)	(82.8%)	(1,059)	(2.3%)
(機能食品)	(9,778)	(17.4%)	(9,900)	(17.2%)	(122)	(1.2%)
営業費用	51,100	90.7%	51,900	90.3%	800	1.6%
売上原価	25,115	44.6%	26,400	45.9%	1,285	
返品引当金戻入額	1	0.0%	-	-		
販売費及び一般管理費	17,785	31.6%	17,600	30.6%	185	
研究開発費	8,200	14.5%	7,900	13.7%	300	
営業利益	5,220	9.3%	5,600	9.7%	380	7.3%

売上原価率 : 対前年度比 + 1.3 ポイント

販管費 : 対前年度比 185百万円

研究開発費 : 対前年度比 300百万円



予想損益計算書(連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績		予想	対前年度比		
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	5,220	9.3%	5,600	9.7%	380	7.3%
営業外収益	986	1.7%	1,300	2.3%	314	31.8%
営業外費用	917	1.6%	700	1.2%	217	23.7%
経常利益	5,290	9.4%	6,200	10.8%	910	17.2%
当期純利益	2,899	5.1%	3,500	6.1%	601	20.7%



設備投資の計画 (連結)

設備投資及び減価償却費

(百万円)

	2006年度 実績	2007年度 予想	増減
設備投資額	1,408	1,800	392
減価償却費	2,750	2,800	50

設備投資内訳

(百万円)

	2006年度 実績	2007年度 予想	増減
< 日本新薬 >	1,339	1,500	161
生産関連	585	800	215
研究開発関連	256	400	144
一般関連	498	300	198
< シオエ製薬 >	59	100	41
< タジマ食品 >	10	200	190
< NS Pharma >	-	1	1
設備投資計	1,408	1,800	392



配当予想

	普通株式1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2006年度	6 円	6 円	12 円
2007年度	7 円	7 円	14 円





研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NS - 126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド 剤	鼻炎	申請中	→ 申請			
			喘息	P	→			
IKH - 01 (導入)	新医療用 配合剤	月経困難症 (子宮内膜症に伴う)		申請中	ノヘルファーマ → 申請			
NS - 315 (塩酸トラマトール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)		P	→			申請予定
NS - 11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P	→			
NS - 17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P			→	
NS - 304 (自社)	新成分	肺高血圧症		P			→	

新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 申請中	柳韓洋行社 	申請		
			US P		Optimer社 	申請予定	
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P				
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P		Innovive社 		



NS-126

- 吸入ステロイド剤 -

- 開発段階** : 鼻炎:2006/12 申請
喘息:Phase a試験 終了
- 開発形態** : 自社
- 成分名** : 新規合成副腎皮質ステロイド
- 適応症** : アレルギー性鼻炎、気管支喘息
- 特徴** : 粉末製剤
1日1回噴霧 (既存薬は2~3回)



IKH - 01

- 月経困難症治療剤 -

開発段階: 2006/10 申請

開発会社: ノーベルファーマ(株)
(2007/07 販売提携契約)

適応症: 月経困難症(子宮内膜症に伴う)

成分: 黄体ホルモン(ノルエチステロン)・卵胞ホルモン(エチニル
エストラジオール)配合剤

剤型: 錠剤(1日1錠21日間投与、7日間休薬)

特徴:

- ・ 低用量ピル(一相性)
- ・ 欧米では月経困難症の第一選択薬
- ・ 国内低用量ピルでは唯一の適応症
(他剤は全て「避妊」)



NS-315 (塩酸トラマドール)

- 非麻薬性鎮痛剤 -

グリュンター社(独)から導入(世界の約100ヵ国で発売済み)

開発段階 : 癌性疼痛 : P

(2006/11 ~ 追加試験)

開発形態 : 自社

用法 : 3 ~ 4回 / 日

特徴 : 中等度鎮痛剤

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ



NS-11 (アカンプロセート)

- アルコール依存症治療剤 -

開発段階: P 試験

開発会社: メルクサンテ社(仏)より導入

欧州30ヵ国で発売済み(1989~)

米国 2005/01 発売(Forest社)

適応症: アルコール依存症

成分: アセチルホモタウリネートカルシウム

剤型: 腸溶錠

特徴: NMDA受容体との特異的相互作用により、
アルコールの離脱症状を軽減し、自発的
飲酒を抑制する禁酒維持のサポート



NS-17 (アザシチジン)

- 骨髄異形成症候群治療剤 -

開発段階: P 試験 2007/10 ~

開発会社: ファーミオン社(米)より導入
米国 2004/07 発売

適 応 症: 骨髄異形成症候群(MDS)

成 分: アザシチジン

剤 型: 凍結乾燥粉末/バイアル
(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特 徴:

- ・ DNA脱メチル化作用による正常分化増殖誘導
- ・ Low ~ High Risk MDS に有効
- ・ MDS治療の第一選択薬(米国)



NS - 304

- 肺高血圧症治療剤 -

開発状況: 欧州 (EMEA) オーファン指定: 2005/08

P 試験 (欧州) 2007/11 ~

P 試験 (国内) 2007/09 ~

適 応 症: 肺高血圧症

作用機序: 選択的PGI₂アゴニスト

剤 形: 錠剤

特 徴: 長時間作用型経口剤



NM441 (プルリフロキサシン)

- キノロン系合成抗菌剤 -

開発段階：国内：発売(明治製菓/スオード錠)：2002/12

海外：アンジェリーニ社(伊)

販売承認：2004/09

発売(伊)：2004/11

(ポルトガル)：2007/01

(キリシャ)：2007/10

欧州各国承認：2005/04

柳韓洋行社(韓)

契約：2003/02

承認申請：2006/07

承認見込み：2007年度

オプティマー社(米)

契約：2004/06

P 試験：2006/05 ~



NS - 187

- 慢性骨髄性白血病治療剤 -

- 開発状況** : イノバイブ社(米)へ導出 : 2005/12
P 試験(欧米) : 2006/07~
- 適応症** : 慢性骨髄性白血病
- 作用機序** : Bcr-ablチロシンキナーゼ阻害
Lynチロシンキナーゼ阻害
- 特徴** : グリベック耐性変異体にも効果

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。